

高浜中学校だより

平成30年4月号

「春風や闘志いだきて丘にたつ」

これは、俳人、高浜虚子が謳ったものです。新しい季節を迎え、これから「やるぞ!」という闘志を前面に出したとても力強い句で、まさにこの時季にぴったりではないかと思います。

さて、この度の定期異動で、高浜中学校の校長に着任しました、村田 好史です。未熟ではございますが、保護者や地域の方々のご支援とご協力をいただきながら、精一杯、務めて参りたいと思いますので、よろしく願います。

さて、269名の生徒と31名の教職員で平成30年度のスタートを切りました。今後は、この学校だよりを通して、学校の教育方針や生徒の様子を伝えていきますので、よろしく願います。

入学式 式辞 (一部抜粋)

さて、今日から高浜中学校の生徒となられた76名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

今、皆さんは中学校生活への希望に胸を膨らませておられることでしょう。これからはじまる3年間は、皆さんが、心身ともに大きく成長しこの

あとの人生を豊かに歩いていくための基礎を創る重要な時期となります。その手助けとなることを願いながら、私から2つのお話をします。

そのひとつは、「何事にも挑戦する強い心を持つ」ということです。これから、生きていく人生は、初めてのことや難しい問題にぶつかることばかりです。このようなことに挑むにはだれでも不安な気持ちになります。失敗したらどうしようという感情に負けて、挑戦せずに避けてしまうことがあります。でも、挑戦して失敗することはマイナスでしょうか。いいえ、「失敗は成功の母」といわれるように、失敗の後には必ず「学び」があります。世の中で成功したほとんどの人は、失敗の連続なのです。どうか、失敗を恐れず、何事にも挑戦する強い心をもって中学校生活を歩んでください。

2つ目は、「違いを受け入れる広い心を持つ」ということです。私たちは、一人一人性格が違いうように、考え方も違います。ともすれば、自分と同じ考え方や性格を持っている人をよい友達と思いつ込み、そうでない人を排除してしまうことがあります。その結果、いじめや争いが起こります。この世の中から争いやいじめをなくし、平和で豊かに暮らすことは誰もが願うことなのです。そのためにも、違いを受け入れる努力をしてください。今、抱いている自分の考えに、異なるものを受け入れることができれば、ひとまわり大きな人間に成長します。

次に、保護者の皆様に一言、言葉を述べさせていただきます。この度は、お子様のご入学おめでとうございます。中学生の制服姿をご覧にな

り、感慨深いものを感じておられることでしょう。中学校生活が始まるこの時期、大人へと脱皮しようとする、例えるなら、さなぎから成虫へと羽化するとてもデリケートな時期です。成虫のような姿を見せても、触れてみると思いのほか柔らかいものです。どうか、お子様の内なる生命力を信じ、自ら硬い皮膚をまとうまで、時間がかかっても見守っていただきたいと存じます。私たち教職員も 精一杯、お手伝いをさせていただきます。

結びになりましたが、地域を代表するご来賓の方々におかれましては、公私共にお忙しい中、ご臨席をいただき、誠にありがとうございます。今や、人口減少対策は社会における喫緊の課題となっております。その中であって、未来をたくましく生き抜く資質・能力を身に付けることが教育の目指すところと考えております。そのためにも、地域に貢献できる生徒の活動を、本校の重点項目のひとつとして取り組んで参ります。どうか、皆様方のご指導、ご協力を切にお願い致しまして、私の式辞といたします。



平成30年度 入学式

平成29年度末 定期異動

<退職・転任>

瀧	健二	校長	定年退職
時岡	常和	教頭	高浜小学校校長へ
吉田	東庸子	教諭	青郷小学校教頭へ
一瀬	泰史	教諭	本郷小学校教頭へ
梶川	和則	教諭	内外海小学校へ
小林	夏樹	教諭	青郷小学校へ
池田	里佳	教諭	青郷小学校へ
小川	真也	教諭	小浜第二中学校へ
今井	悠介	教諭	高浜小学校へ
兵庫	慶則	教諭	美浜中学校へ
見越	肇子	支援員	舞鶴特別支援学校へ

<転入>

村田	好史	校長	高浜小学校教頭より
富田	芳彦	教頭	和田小学校教頭より
城谷	俊臣	教諭	西津小学校より
砂原	亘	教諭	青郷小学校より
堀口	尚敬	教諭	美浜中学校より
大野木	圭	教諭	勝山高校より
古江	純一郎	教諭	新規採用
中西	亮太	教諭	新規採用